

令和7年度（地域間幹線系統）生活交通確保計画について

1 概要

北部循環コースは、地域間幹線系統（複数市町村をまたがる広域的なバス路線であり、かつ、一定の基準を満たす路線）として、国の地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を受けている。この度、令和7年度（補助対象期間は、令和6年10月1日から令和7年9月30日まで）の地域間幹線系統の位置付けに必要な生活交通確保計画（資料5-2）を策定し、愛知県公共交通協議会に提出したため、地域公共交通会議で報告するもの。

2 主な内容

(1) 路線の特性及び利用者の特徴

- ・令和2年4月1日より、従来の北部コースと東部コースを統合。循環路線とした北部循環コースに路線を再編し、東海市の南加木屋駅に乗り入れるルートとするなどの見直しをした。
- ・令和2年9月24日より、阿久比町のカネスエ阿久比店にバス停を新設し、乗り入れを開始。今年、3月には、健康増進施設（アクアマリンプラザ）とホームセンターのオープンに合わせ、ルート上にバス停を新設した（図1参照）。
- ・公立西知多総合病院への通院需要、知多翔洋高校生の通学需要、名鉄朝倉駅、寺本駅、巽ヶ丘駅、南加木屋駅利用者の需要が見込めるほか、自動車を所持していない高齢者や女性等の買い物利用等を見込んでいる。

(2) 輸送サービスの利用促進計画

ア 利用者数の目標

- ・年間利用者数 62,800人

イ 利用促進策

- ・年に1回の関係市町との情報交換
- ・バスロケーションシステムの運用 など



(図1) 令和6年3月1日のバス停の新設について

3 スケジュール

提出した生活交通確保計画は、愛知県公共交通協議会から国へ提出。国の承認を得ることにより、国庫補助の対象として認められる見込み。

